

# 令和2年度「いじめ・不登校等」への取組について

## 1 いじめ・不登校に関する状況と分析

### 立川市の児童・生徒の不登校・いじめの状況

項目	学校	H25	H26	H27	H28	H29	H30
いじめ	小学校	156	173	208	398	955	1748
	中学校	188	137	113	191	127	150
不登校	小学校	52	34	41	54	65	78
	中学校	138	154	162	169	162	190

文部科学省「児童・生徒の問題行動等生活指導上の諸問題に関する調査」から

### <いじめに関する分析>

- ・小、中学校ともに認知件数は増加傾向にある。
  - ・認知したすべてのいじめに対して、教育委員会の定期的な調査により対応が確認されている。
  - ・平成30年度は重大事態として1件報告している。平成31年度に入り解消を確認している。
- いじめ防止対策推進法に対する理解の浸透  
未然防止・早期発見・早期対応の定着  
今後も未然防止・早期対応を継続する。

### <不登校傾向に関する分析>

- ・小、中学校ともに不登校出現率は高い。

#### <H30 結果の国・都との比較>

	立川市	都	国
小学校	0.75	0.56	0.5
中学校	4.11	3.78	3.4

- ・平成26年度以降、増加傾向にある。
- ・要因は、学校以外のものも含め、多岐にわたり、特定が難しい。→よりていねいな対応が必要

## 2 いじめ防止対策について

### ○いじめ防止に対する基本方針

- ・いじめ防止対策推進法  
→平成25年施行、いじめに対する考え方の根拠法令
- ・立川市子どものいじめ防止条例  
→平成26年施行、市のいじめ防止施策の根拠
- ・学校いじめ防止基本方針  
→各学校で作成。学校組織を活用した対応を示す。

### ○未然防止・早期発見への支援

- ・「ふれあい月間」による調査（6月・12月）
- ・市のいじめ解消・暴力根絶旬間による児童・生徒アンケート（6月・12月・2月）
- ・生活指導主任会での毎月の報告
- ・いじめ防止対策審議会の開催
- ・児童・生徒が直接教育委員会に相談できる「いじめ相談レター」の配布

### ○各学校での取組

- ・学校いじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応
- ・スクールカウンセラーによる全員面接（全小中学校、小学校第5学年・中学校第2学年）
- ・いじめ防止の標語づくり・ポスター配布
- ・弁護士等によるいじめ防止授業の実施
- ・各学校の児童会・生徒会での取り組み
- ・全校集会等での講話

## 3 不登校傾向に対する支援について

### 三つの取組を組み合わせ、児童・生徒一人一人の状況に応じたていねいな支援

### ○児童・生徒、保護者等に働きかける

- ・担任や教員など
  - ・家庭と子どもの支援員
  - ・スクールカウンセラー
- ※登校支援シートの活用

#### 学校内部での取組

- ・校内委員会
- ・シートを活用した情報共有
- ・毎月教育委員会へ報告

- ・スクールソーシャルワーカー
- ・特命担当
- ・指導主事など

#### 不登校対応チーム

- ・常駐型SSW3名
- ・スーパーバイズ

### ○外部機関と連携して働きかける

- ・教育支援課による巡回相談、教育相談など
- ・子ども家庭支援センターとの連携による家庭支援など
- ・福祉保健部生活福祉課ケースワーカーによる家庭支援
- ・児童相談所による虐待や非行などへの対応
- ・民生委員、民生児童委員との連携など
- ・教育委員会研修等での有識者からの助言の一層の活用（31年度の例）  
臨床発達心理士 松本くみ子氏・大学教授 小林 幹夫氏

### ○多様な居場所を確保する

- ・保健室登校等、教室以外での別室登校の工夫
- ・心を落ち着けるためのフリースペースの工夫
- ・適応指導教室による学校復帰を目指した取組  
「おおぞら」「たまがわ」
- ・小学校特別支援教室キラリの全校配置
- ・中学校特別支援教室プラスの設置と全校配置への取組
- ・小学校自閉症・情緒障害学級設置の検討 など